

## 新発田市教育委員会令和元年6月定例会 会議録

### ○ 議事日程

令和元年6月4日（火曜日） 午前9時30分 開 会  
豊浦庁舎 2階 教育委員会会議室

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 前回定例会会議録の承認について

日程第3 教育長職務報告

日程第4 議 題

議第11号 新発田市同和教育推進協議会委員の委嘱について

議第12号 新発田市立図書館協議会委員の任命について

議第13号 新発田市社会教育委員の任命について

日程第5 その他

- (1) 令和元年度新発田市一般会計6月補正予算について
- (2) 小学校統合に関する状況報告について

### ○ 会議に付した事件

議事日程に同じ

### ○ 出席者

工 藤 ひとし 教育長

関 川 直 委 員（教育長職務代理者）

桑 原 ヒサ子 委 員

笠 原 恭 子 委 員

小 池 庸 子 委 員

### ○ 説明のため出席した者

教育次長 佐藤弘子

教育総務課長 山口誠

教育総務課参事（学校統合担当）  
橋本隆志

学校教育課長 萩野喜弘

学校教育課教育センター長  
小坂井博

文化行政課長 平山真

中央図書館長 平田和彦

歴史図書館長 大森雅夫

中央公民館長 米山淳

青少年健全育成センター所長兼児童センター所長  
井越信行

○ 書 記

教育総務課長補佐  
中山友美

教育総務課教育総務係長  
杉林直樹

○ 資料確認

○工藤教育長

それでは、時間になりましたので、おはようございます。ただ今から教育委員会令和元年の6月定例会を開催いたします。はじめに日程第1 会議録署名委員の指名についてであります。桑原委員を指名したいと思いますのでよろしく願いいたします。

○工藤教育長

それでは、日程第2 前回定例会議事録の承認についてお諮りいたします。すでに送付してあります議事録についてご質問等がありましたらよろしく願いいたします。

○工藤教育長

なければ承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、前回定例会議事録は承認されました。

○工藤教育長

日程第3に入ります。教育長職務報告を行います。

職務報告につきましては、既に送付してあります「教育長職務報告（平成31年4月26日～令和元年5月27日分）」により承認をお願いしたいと思います。何かご質問等ございましたらお願いします。

（「ありません」との声）

○工藤教育長

よろしいでしょうか。

ないようですので、教育長職務報告については、承認することとしてよろしいでしょうか。

○工藤教育長

異議なしと認め、教育長職務報告は承認されました。

○工藤教育長

それでは、議題に入ります。

議第11号 新発田市同和教育推進協議会委員の委嘱について、萩野学校教育課長から説明をお願いいたします。

○萩野学校教育課長

はい。それでは、議案の2ページ、議案に係る資料も同じく2ページをお開きください。新発田市同和教育推進協議会の委員ですが、小中学校 PTA 連合会の役員に交代があったため、前竹前さんから伊藤さんに委員の委嘱をお願いしたいということがあります。全体の名簿は以前にお示ししておりますが、議案に係る資料の2ページに載っております。よろしくをお願いいたします。

○工藤教育長

それでは、この件について、ご質問等ございますか。

○工藤教育長

ご意見ご質問がないようですので、議第11号 新発田市同和教育推進協議会委員の委嘱については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声）

○工藤教育長

異議なしと認め、議第11号について承認することと決しました。

○工藤教育長

それでは続きまして、議第12号 新発田市立図書館協議会委員の任命について、審議を行います。平田中央図書館長から説明をお願いいたします。

○平田中央図書館長

はい。それでは議第12号 新発田市立図書館協議会委員の任命について、ご説明させていただきます。議案が3、4ページ、議案に係る資料3・4ページとなっております。議案に係る資料をご覧いただきたいと思います。図書館協議会全委員の任期が本年6月末日をもって満了となりますことから、新たに委員の任命をお願いしたいというものでございます。新たな任期につきましては、令和元年7月1日から2年となります。この度は、委員10名中7名を再任、3名の方が新任となっております。ちなみに新任の方は、学識経験者の神田良子様、前田恵子様、宇賀村由美子様でございます。説明は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○工藤教育長

それでは、ご質問等ございますでしょうか。

○小池委員

委員の任命については、なんら異論はないんですけれども、勉強不足なのでこの機会に2点ほど教えていただきたいのですが、新発田市立図書館協議会の議題というか協議対象としては、歴史図書館も包括されているというふうに受け止めていいのかというのが1点です。それは、新任の方のなかに、古文書読解研修会の幹事様が加わっていたことがすごく大事なんだと思いましたので。もうひとつは、非常に類似しているんですけれども、複合施設の図書館にも、管理運営の専門委員会があったようにかすかに記憶しているが、そういったものが歴史図書館にも位置づいているのでしょうか。と申しますのは、先日の三市北蒲原郡の研修会で、胎内市で勉強させてもらった時に、胎内市は非常に豊かな埋蔵文化があり、新発田市にも埋蔵文化の時代のものが資料として非常に豊かであるので、歴史図書館がそちらにウエイトをおいた形で研究整備を進めていくような位置づけになるのかなと自分で勝手に思っていました。そこをベースキャンプのようにして、埋蔵文化ともつながって、他市町村との連携をすることも大事なことだなと感じています。そうすると歴史図書館の運営に関する協議団体、協議機関も非常に重要になってくるかなと思っていますので、ちょうどこの機会なので聞かせていただきたいと思いました。以上です。

○工藤教育長

小池委員ありがとうございます。平田中央図書館長、お願いいたします。

○平田中央図書館長

ただいまの小池委員のご質問にお答えいたします。今回の協議会は、新発田市立図書館全体の諮問といいますか色々お答えいただくという機関でございまして、それは歴史図書館も中央図書館も含めての協議会ということでございます。二つ目はイクネスしばたにおける運営団体についてですが、イクネスしばたサポータークラブという

ボランティアの組織がございまして、ちなみに今回の議案の選出母体のうち、新発田市立図書館利用者友の会、こちらもサポータークラブですし、おはなしのとびらこちらは読み聞かせの会ですが、こちらもサポータークラブに所属していただいております。歴史図書館に関しては大森館長からお願いします。

○大森歴史図書館長

今ほどのご質問にお答えいたします。私ども歴史図書館にはこういった協議会はございませんが、歴史図書館の位置づけそのものが、新発田市立図書館の中のひとつという位置づけになっておりますので、独立したそのような協議会はございません。また埋蔵文化財との関係でございしますが、原則今のところ歴史図書館については、紙ベースのものいわゆる古文書ベースのものを中心に取り扱うことになっておりますので、直接その埋蔵文化の部分まで関与するというのは今のところは考えていませんし、その部分については、私どもと文化行政課と連携を密にしてやっておりますので、とりたてて協議会というものはありませんが、十分対応していると思います。

○工藤教育長

小池委員いかがでしょうか。

○小池委員

はい、ありがとうございました。

○工藤教育長

ありがとうございました。ほかにご意見ご質問いかがでしょうか。

○工藤教育長

ご意見ご質問がないようですので、議第12号 新発田市立図書館協議会委員の任命について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。  
(「はい」との声)

○工藤教育長

異義なしと認め、議第12号について可決することと決しました。

○工藤教育長

次に、議第13号 新発田市社会教育委員の任命について審議をおこないます。米山中央公民館長から説明をお願いします。

○米山中央公民館長

はい、皆さんおはようございます。それでは、議第13号 新発田市社会教育委員の任命についてでございます。議案及び資料5、6ページをご覧ください。こちらは、先の5月の定例会におきましても、社会教育委員の改選時期であるということでご承認いただいたところですが、新発田市小中学校 PTA 連合会から選出を願っております委員が今回決まりましたので、追加で任命について承認をいただきたいというものでございます。以上でございます。

○工藤教育長

ありがとうございました。それでは、この件について、ご質問等ございますでしょうか。

○工藤教育長

ご意見ご質問がないようですので、議第13号 新発田市社会教育委員の任命について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。  
(「はい」との声)

○工藤教育長

異議なしと認め、議第13号につきまして可決することに決いたしました。

○工藤教育長

それでは、続きまして、日程第5その他に入りたいと思います。  
はじめに、令和元年新発田市一般会計6月補正予算についてであります。  
佐藤教育次長から説明をお願いします。

○佐藤教育次長

改めまして、おはようございます。6月の補正予算につきましては、先月の定例会でご説明をさせていただきましたが、その後、財政担当と調整した結果、金額が確定をいたしましたので改めてご報告をさせていただきたいと思います。その他資料の1ページをご覧くださいと思います。歳入からご説明をさせていただきます。色がついている箇所でございます。先回は、教育総務課分につきましては、特にご説明をしていなかったのをごさいますけれども、学校施設の環境改善国庫交付金につきまして国の交付金を受けながら学校の整備をして参りたいということで申請をしておりましたが、残念ながら今年度につきましても不採択となりました。その財源につきまして、組換えをさせていただきたいということで、この度予算計上をさせていただくものがございます。内容につきましては、東小学校のグラウンド整備の2期目の整備工事を予定しているものございまして、補助率3分の1で1,500万円を充てたいと考えておりましたが、残念ながら不採択ということでございます。従いまして、1,500万につきましては、説明欄に記載させていただいておりますが、1,130万円を借金であります市債で、残りの部分は一般財源で370万を充てさせていただきたいということでございます。今年度の東小学校のグラウンド整備につきましては、概ね6,300万ほど予算を歳出のほうで予定してございますので、総額では市債が4,670万、一般財源が1,558万2千円ということで予定をしていきたいと考えているものがございます。そして他の示達額の欄についてでございますが、歳入の育成センターにつきましては先回ご説明しました額と同額でございます。歳出のうち、教育総務課の示達額は前回と同額でございますが、一番下段の青少年健全育成センターは14万2千円ということで、千円ほど減額になってございますが、これは端数調整ということであります。以上でございます。よろしく願いいたします。

○工藤教育長

ありがとうございました。  
それでは、この件につきましてご質問等ございましたらお願いいたします。  
はい、桑原委員どうぞ。

○桑原委員

不採択になった理由は聞いていらっしゃいますか。

○山口教育総務課長

はい。私からご説明いたします。

○工藤教育長

山口教育総務課長、お願いします。

○山口総務課長

ただいまのご質問についてお答えいたします。詳細については県からは伝わってき  
てはないのですが、ただ、事業の中で優先順位があるということはお聞きしており  
ます。例えば、耐震化であるとか、特別支援学校であるとか、バリアフリー化である  
とか、そういった事業が採択の優先順位が高い事業だと聞いております。今回、東小  
学校のグラウンドについての申請でしたが、グラウンド整備については県内ではどこ  
も採択されなかったとということでございます。昨年度もグラウンド整備については  
不採択でございましたので、これについてはなかなか難しいのかなと捉えております。  
以上でございます。

○桑原委員

優先順位がはっきりしているのであれば、申請内容も吟味してから、何を申請する  
か考えていく必要があるということですね。

○山口教育総務課長

はい、そうですね。

○工藤教育長

この間、全県の教育委員長会議でもこの件が話題になりまして、子ども達の大切なグ  
ラウンドだけれども優先順位がどうも下のようであると。各教育長からは、県に協力を  
いただき、国へ強く要望し是非とも予算確保をお願いしたいと話があがりました。  
会議には県の義務教育課長さんに来ていただいておりますので、県の義務教育課長  
も県のほうでも検討してみたいとおっしゃってはいました。ただ、国の優先順位がど  
うも今のお話のようですので、耐震だとすぐ通るけれども、グラウンドというところ  
も通らないというのが現状だそうです。市の負担が増えてまいりますので、これから  
も働きかけをしていかないといけないなと感じています。

○桑原委員

交付金については、採択されやすくして新発田市が必要とするものを申請して、グラ

ウンドは市の財政で少しずつ整備していく必要があるのかもしれませんが。

○工藤教育長

桑原委員からご意見いただきました。ありがとうございます。事務局のほうでも検討していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

この件につきまして、他にご質問ご意見ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

ないようですので、次の（２）小学校統合に関する状況報告につきましてお願いしたいと思います。それでは、山口教育総務課長からお願いいたします。

○山口教育総務課長

それでは、ホチキス止めで「事務連絡票」と記載があります資料をお願いします。七葉中学校区と豊浦中学校区の小学校統合の状況をご報告いたします。

はじめに、資料の１枚目をご覧ください。七葉中学校区につきましては、５月１４日開催の七葉中学校区内の小学校統合検討委員会におきまして、これまでの統合に関する検討内容について協議がなされまして、この度「検討結果報告書」の提出があったところでございます。その内容につきましては記載のとおりでございますが、１つ目、統合の時期は令和３年４月１日でございます。２つ目、統合校の位置は七葉小学校の位置とし、３つ目、統合校の名称は七葉小学校といたします。そして、４つ目、校章と校歌につきましては、現行の七葉小学校の校章と校歌を採用するというので、検討委員会で意見がまとまり報告をいただいたところでございます。また、今後の予定についてでございますが、学校設置条例の一部改正議案を市議会９月定例会に上程する方向で準備を進めることとしております。また、統合関係校、菅谷小学校と七葉小学校であります。教職員準備委員会を今後立ち上げまして、教育課程の調整、交流事業の実施等の各種調整を行うこととしております。

次に豊浦中学校区の小学校統合の進捗状況でございます。A3の資料をご覧ください。こちらにつきましては、統合の時期は七葉中学校区と同じ令和３年４月１日、統合校の位置につきましては現中浦小学校、統合校の名称につきましては豊浦小学校、そして、校章・校歌につきましてはデザインと歌詞を新たに作成するというので既にお知らせしております。この度、６月３日から校章のデザインと校歌の歌詞の公募を開始したところでございます。

以上、七葉中学校区と豊浦中学校区の小学校統合に関する進捗状況を報告させていただきました。

○工藤教育長

ありがとうございました。それでは、この件に関しましてご意見、ご質問等がありましたらお願いします。はい、どうぞ。

○関川教育長職務代理者

七葉中学校区の統合に向けた準備ですが、行政の方の準備は問題なく進むと思いますが、大事なのはソフト面であり子ども達への対応が非常に心配であります。準備状況について、小池委員の耳に入っていることはありますでしょうか。



## ○小池委員

推進する方向、賛同しているというお話は聞こえてきます。そこを止めるようなことは、去年あたりからは、あまりというかほとんどありません。私が在職していた頃から保護者と地域を含めた組織を早めに立ち上げたことが、協議を深める機会を増やすことに繋がり、総意というか意思統一というか、そうした刷り合わせがゆっくりと十分にできていったのではないかと思います。決定的なのは、割と多くの保護者が複式による教育の進め方については不安をはっきりと言う方が当時もありました。それが非常に大きな、統合するにしてみてもしないにしても、真剣に考えていくきっかけになっていったなと感じています。自分達の長い歴史の中から学校がなくなるということ、反対はしないけれど、ある世代から上の方からものすごく惜しむ声が、私が立場を離れてからも聞かせていただくことはありました。そういった方達の市民の声としての話は、学校教育としての姿としては残らないにしても、何かを育てていく環境と広い意味での子ども達の育成と捉えて、菅谷で何かできることはないかと前向きにとらえていらっしゃって、本当にいろんな意見をおっしゃる方がたくさんいました。例えば、社会や集団になかなかなじめない子ども達、栗島浦村で取り組んでいるようなことを4、5年前に考えていて、農業体験、自然体験をしてもいいんだとおっしゃっていた方もいらっしゃいました。そういう方達は、かつて PTA の役員や地域の自治会長などのいろいろなことを通して、学校という教育課程だけではなく支えていても非常に子ども達の育ちに繋がるという強いポリシーをお持ちのようで、それを積極的に考えてらっしゃる方が校長室にみえてお話されることがありました。また別の方は、英語教育の発信をできないかなとおっしゃっていて、その方のご親戚に外国から来られた奥様がいらっしゃることが刺激となってるようでしたが、いずれにしても、菅谷の地域にある特色を新発田市の子ども達に活かせる場として捉えていき、菅谷が新発田市に貢献できる環境を持っているというところは大事にしたい、学校という組織がなくなってもそこは維持していきたいということ、ある世代の方達は私の在職中にお話をいただきました。

もちろん、統合に、今、抗うということは一切、去年、今年とありませんが、そういう思いがあるのだということはこの地域だけではなく、統合に関して行政が忘れてはいけない一つの要素なのではないか、どう思いを結集していくのかということではないかなと思います。

## ○工藤教育長

ありがとうございました。

関川教育長職務代理者、どうぞ。

## ○関川教育長職務代理者

大人のレベルはいいと思います。着々とひとつ、ひとつ進んでいくのだらうと思います。一番大事な子ども達が同化する、気持ちりが溶け合うという過程を、大人が場面設定をしながら進めていくのだと思います。どこの学校でも、統合前は慣れ親しむために一緒に授業を受けたり、場合によっては行事的なものを同時にやってみたり、あるいは交流しながらいくのだらうと思いますし、実際そうすると思いますが、今回の場合、菅谷というのは一言も出てこなくなるので、そこが心配なのです。老婆心だと

はと思いますが、やっぱり子ども達の心の安定、いかに穏やかな流れにしていくかということ、教職員中心にやらなければならないと思います。私にも何か協力できることがあるのならば、関わっていくこともありなのかなと思っています。現場から教育長の方に何か入っていますか。

#### ○工藤教育長

直接、私の方にとということではありませんが、先日、山口教育総務課長と一緒に、七葉中学校区の検討委員会に出席させていただきました。その席で、地域の方から意見があったことは確かです。それはどういう内容かと言いますと、自分の子どもが統合の時にちょうど6年生で、七葉の子ども達とうまくやっていけるだろうか、また、菅谷には素晴らしい伝統行事があるけれども、それが七葉で継続してもらえるのだろうかというもので、保護者の方と年配の地域の方の3人からお話がありました。既に検討委員会でそういう声があがっていて、七葉小学校の校長と菅谷小学校の校長が中心となってこうした意見を汲みながら、これからの統合にも向けてお互いの子ども達が交流できるように、そして行事をどのように計画するかの検討を進めることとなっているということでした。会が終わった後に、その話をもう一度私の方からもさせていただきましたし、同席した地域の年配の方もそうになっているんだよと声を掛けていただき、若い保護者の方は安心されたようです。しかし、関川委員と小池委員からいただいたお話はとても大切なことで、現場の先生達が子ども達のことを思って活動していくことが重要だと私も思っています。特に、関川先生がおっしゃるように、今回の菅谷小学校の場合は、名称や校章など全てが七葉小学校のものを採用することになりますから。

しかし一方で、中学校が七葉中学校だからそうだよ、というお声もありました。中学校の名前が七葉中学校、だから小学校は七葉小学校、将来的には皆、七葉中学校に入学するのだからという声もいただきましたので、こうしたことを大事にしながら進めていきたいと思っています。

#### ○工藤教育長

小池委員、どうぞ。

#### ○小池委員

関川委員からお話をお聞きして、実は私も校章、校歌、校名が七葉となることについて、マイナスと考えず前向きに捉えるために、また菅谷の人達の思いも込めるとなりますと、やはり新しい、新生七葉小学校のカリキュラムか機能の中に、菅谷が脈々と取り組んできたことを忘れずに組み込むことが大事なのではないかと思っています。

加治川小学校も加治川小の名前を採って3校の統合となっていて、その時のスタートの取組みとしては、決して吸収合併ではなく、新生加治川小学校、学校の名前は加治川だけど、新しい学校を作っていくというような職員の意識醸成を当時の校長先生が一生懸命なさっていました。新生七葉小学校だという視点と、地域の思いを伝えるという意味で、何か形というかアクションを起こして継承していくという部分と、今ほど教育長がおっしゃったとおり、随分前から、七葉中学校に入学すると一緒になるのだからということで、小学校は2つあるけれども、何かある度に、例えば生徒会活動をベースにして交流的なものを心がけて実施していると思います。中学校では必

ず一緒になるのだからと。特に同和教育に関しては、七葉小学校と菅谷小学校で意識の差を作ってはいけないということを核にしながらか、共有していい教育活動をどんどん実施して、たまたま別の校舎だけだという感じの中で七葉中学校に送り出したという意識がありました。七葉中学校で一緒になるということは一つの前向きな要素になりますし、あとは新しい七葉小学校なのだということを意識形成していけると子ども達にとってもプラスになっていくのではないかと思います。

○工藤教育長

ありがとうございました。桑原委員、どうぞ。

○桑原委員

児童数の減少により授業環境を保つために統合するわけですが、そうすることによって、統合した小学校の歴史的、文化的なエリアは広がることになると思います。先程おっしゃったように授業の中で、あるいはアクティブラーニングの中で、それぞれの地域が持つ歴史的文化的な財産を勉強していくということを学校教育の中で推進していけば、一つの学校の名前を採用したとしてもそれぞれの小学校区の特徴を学ぶことになります。例えば菅谷小学校エリアについても、七葉小学校の地区の児童も勉強する、これが大切だと思います。何かを一緒にごちゃごちゃしてしまうのではなく、それぞれをきちんと学んでいくことなのだと思います。

○小池委員

もっと言ってしまうと、統合校のくくりというのは、地域の人達の文化的な意識の方向とは少し違ってもっと別な合理的なものでくくられるので、極論すると文化のくくりとしては別々なのかもしれません。世代の古い方達はおらが文化ということで学び合うのですが、そうではなくて、お互いの宝物として共有させていける働きを持っているのが学校だと思います。ですので、桑原委員がおっしゃったように、それぞれ持っている固有の良さが両方の、ひいては七葉中学校区の財産であるように地域住民も認識していけるような教育活動が意義あることなのではないかと思います。良き統合となって欲しいです。

○関川教育長職務代理者

そこなんです。新七葉小学校とは言わないわけで、七葉小学校と呼び、校章も校歌も全て七葉小学校のままであるという形の中に菅谷小学校だった子ども達が入っていくことになる。このことに何の抵抗もなかったのかなと素朴な疑問を持ちますが、それだけに菅谷の子ども達、大人の思いをしっかりと受け止めながら、今おっしゃったような新しい七葉小学校の教育システムをきちんとやっていくことが必要ではないかと思います。特にその原点をどこに置くかと言えばやはり人だと思います。人間に置かないといけないのかなと思います。これから統合の忙しさにだんだん追い立てられるようになると思います、現場は。その中で子ども、人が二の次、三の次になってしまわないかというのが私の心配な点なのです。このあたりについて、現場と大いに密接に連絡を事務局が取りながら、特に学校教育課さんの方で細かい点をチェックしながら進めたらどうかと思っています。東小学校が統合して間もない時期に、私はあえて校長に子ども達の心の動きはどうだと聞いてみましたが、校長は自信

をもって大丈夫ですとおっしゃっていましたが。

本当に老婆心なのですが、心配であり、特に今回の場合はそういう状態で一緒になるわけなので、できるだけ気を配っていかなければならないと思っています。

○工藤教育長

大変貴重なご意見をありがとうございました。

本当に人を大事にするといいますか、人が一番なんだという確認を教職員とともに我々行政も進めていき、子ども達が明るくのびのびと輝ける新発田にしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○工藤教育長

この件に関して、他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

○工藤教育長

他に事務局からありますでしょうか。

佐藤次長、お願いします。

○佐藤教育次長

それでは配布いたしました資料をお願いします。

5月24日に市議会の臨時会が開催をされまして、新聞等でもご承知のことかと思いますが改めてご報告させていただきます。議長に比企広正氏、副議長に渡邊喜夫氏と、このお二人が正副議長となりました。そして常任委員会ですが、毎回、議会があるごとに議案についてご審議をいただく委員会であり3つの委員会がございます。総務常任委員会、社会文教常任委員会、経済建設常任委員会とありますが、教育委員会を所管するのは社会文教常任委員会でございます。8人のメンバーでご審議をいただくこととなり、二重丸が委員長、一重丸が副委員長でございます。宮崎議員が委員長となりまして、市会議員になられて2期目ということで委員長、板倉市会議員が副委員長でございまして、副委員長は1期目の方というのが慣例のようであります。以上でございます。

○工藤教育長

はい、ありがとうございました。

この件につきまして、ご質問や確認したい点はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では次に、山口教育総務課長をお願いします。

○山口教育総務課長

それでは、毎年実施しております教育委員の皆様への先進地視察研修について少しお諮りさせていただきたいと思っております。この先進地視察研修につきましては、昨年度は英語教育をテーマとして千葉県流山市さんと成田市さんへの視察を計画しておりましたが止むを得ず中止とさせていただいた経緯がございます。そこで、今年度の視察について事務局といたしましては両市にまた今年度受入れをお願いしたいと考えていたのですが、委員の皆様の方から他のテーマや視察先のご意見がございましたら

この場で頂戴したいと思ってお諮りいたしました。資料につきましては参考までに去年のものをお配りしております。よろしくお願いいたします。

○工藤教育長

今ほど山口教育総務課長から、教育委員の先進地視察研修について話がありました。昨年は中止となってしまったので、今年、同じところで考えているということですが、委員の皆様からこういうところを視察したいというご意見がありましたらお願いいたします。

○関川教育長職務代理者

日程は忙しい流れだったと思いますが、去年、綿密に計画を練っていただいたので、ここでなければならないということはありませんが、同じところが良いのかなと思います。

○工藤教育長

他の委員の皆様はいかがでしょう。よろしいでしょうか。  
それでは、提案のとおり段取りをお願いいたします。

○小池委員

日程は同じでしょうか。

○山口教育総務課長

もう一度、先方に受入れをお願いしてみますので、詳細については決定後、ご連絡させていただきたいと思います。

○工藤教育長

それでは、時期につきましては調整をしていただきたいと思います。  
そのほかに何かございますでしょうか。  
米山中央公民館長、お願いします。

○米山中央公民館長

口頭で大変申し訳ないのですが、成人式の件でございます。先の定例会で、午前、午後2回の開催を1回にしてはどうかということでお話させていただきましたが、市長にも数値を提示して説明しましたところ、方針としましては1回開催に戻すということとなりました。そもそも、平成17年の合併によって人数が多くなり、会場に入らなくなったということでありましたが、令和2年の、令和最初の成人式から1回で開催する方針となりましたのでご報告いたします。具体的なプログラム等につきましては、構成を変更しないと成人式が2時間以上、3時間ちかくかかることとなりますので、今後、新成人を中心とした実行委員会で根本的に運営方法を見直したいというものでございます。

もうひとつ、令和元年度の小・中学校の教育鑑賞事業、文化会館で行っていますが、これについてのご案内をお配りいたしましたので、お時間がございましたらご覧いただければと思います。以上でございます。

○工藤教育長

ただ今、米山中央公民館長から成人式の件、小・中学校教育鑑賞事業の件について報告がありましたが、皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。

では、令和からの成人式は1回開催に戻すということをお願いいたします。教育鑑賞事業につきましては各学校の日程が記載されていますので、お時間がございましたら是非ご出席いただければと思います。

○工藤教育長

他に、事務局から報告はありませんか。

山口教育総務課長、お願いします。

○山口教育総務課長

もう1点、ご報告でございます。エアコン工事の進捗状況について調査しておりましたが、本日、最新の数字があがってまいりましたので口頭で恐縮でございますがご報告させていただきます。現在、各業者さんに全力を尽くしていただいております、土日、祝日なく工事をお願いしております。職員につきましても、土日、祝日は学校が休みでございますので、朝夕と学校の鍵の開け閉めに行っている状況でございます、1日も早く稼働させたいと進めているところでございます。現在、完成した学校は率にしますと13パーセントでございます。今後、概ね80パーセントの学校で7月初旬には試運転まで可能となる予定でございます。残りの学校につきましても、7月中旬にはほとんどの学校で稼働できる見込みでございます。暑くなってきましたので早く稼働できれば良いのですが、7月初旬からほとんどの学校で試運転ができるという状況でございますのでご報告いたします。

○工藤教育長

ありがとうございました。

学校現場からはお礼の声も聞こえてきています。業者の方と教育委員会が協力して設置、工事に力を入れていただいております。先日、小学校で運動会が開催されましたが、教育総務課の施設担当から、万が一、熱中症などが発生した場合はエアコンを使えるようにと段取りしていただきました。また、学校教育課から小学校に十分気をつけるようにと指導していただいたので、各校ともプログラムの変更や水分補給、日陰で休息を取ることをきちんと実施していたようであります。私が出席しました自治会連合会の総会でも各自治会の方から子ども達に配慮してもらったと感謝の言葉をいただきました。いろいろと対応いただき、ありがとうございました。

○工藤教育長

それでは、他に何か事務局からございますでしょうか。よろしいでしょうか。

なければ、委員の皆様から何かございますでしょうか。

関川委員、どうぞ。

○関川教育長職務代理者

報告でございます。5月31日に関東甲信越静岡の教育委員会連合会の総会並びに研

修会に山梨県の北杜市へ行ってまいりました。朝6時に出発し、帰りは12時を過ぎました。現地に到着してすぐに、特別講演、アトラクションとして、県立北杜高校のギター部の演奏がありました。全国大会常連校だそうございまして、過去に優勝を2回しているという実力のある学校の様であります。本格的なギターの演奏を初めて鑑賞しました。普通のギターの形だけれども様々な大きさがあり、チェロのように足をつけて演奏するベースギターがあり、すばらしい演奏を聴かせていただきました。続いて開会式となるのですが、来賓の皆様の挨拶が長いものですから、開会式が長くなり総会の開始時間が遅れ、総会は走りばしりとなってしまいました。次に研修会となりましたが、研修会は文部科学省の中等教育局情報教育・外国語教育課の課長補佐の佐藤有正さんの講和がございました。題名は「教育の情報化の推進について」ということでした。私には慣れない言葉が多く出てきましたが、資料を事務局に提出しましたので、学校教育課をはじめ目を通していただいて今後の教育の流れの把握に努めていただきたいと思います。時間が押していましたので、説明も早口で映像もすぐに切り替わってしまいますような状況でしたが、ひとつ気になったことは、プログラミング教育というもの情報活用能力というものは同じではないというお話がありました。今後そういう時代になっていくのだということを感じたところでもあります。続いて記念講演がございまして、北杜市の金田一春彦記念図書館の名誉館長であり、長野県立大学の初代学長である金田一真澄氏の講演でした。演題は「人生100年時代を見据えた教育の在り方」でありました。非常に明快で、さすがに言語学者だと感じました。非常に聞き取りやすいお話で、噛みしめたいような言葉がたくさんございました。最後に心に残った言葉をお伝えすると「教育というのは人の心に火をつける営みなのだ」という言葉であります。100年生きていく人は、人から教えられるような教育や情報を得るだけでは生きられないということであり、自らが求めて情報を手に入れたり、何かを創作したり、人に伝えたりということをしなければ100年は生きられないということなのだと感じました。こうしたことを見据えて、教育委員会の人達は学校や社会教育をみてくださいということだと感じ、感銘を受けました。有意義なものでありました。ただ、新潟県からの参加者が減っているという印象を持ちました。その中で長岡市、上越市、胎内市はフルメンバーで参加していましたが、これは視察を兼ねて参加していて、私達は、先程、千葉県の流れ山市に視察にという話が出ましたが、これらの市はその視察を兼ねて1泊し次の日にどこかにという形をとっているようでありました。以上であります。

#### ○工藤教育長

強行軍の中、お疲れさまでございました。  
また、ご意見、ご提案をいただきましたので検討してまいりたいと思います。  
すばらしいお話をご報告いただきありがとうございます。  
桑原委員、どうぞ。

#### ○桑原委員

お話を伺い本当に充実した一日だったのだと思いました。  
教育の情報化は、教室の中の情報技術の変革です。これは対応していかなければならない課題だと思います。それと同時に人生100年の中の教育をどう考えていくかということですが、関川先生のお話をお聞きして、100年の中の義務教育は一番最初

のほんの少しの期間であり、その後、高校や大学に進学するにしても学校教育は本当にスタートのわずかな部分です。短い期間の義務教育で、生涯学習という意識を植え付けていかなければいけないということだと思います。卒業後は、自立して学んでいくという意志をもてるために、長い人生の中で幼・小・中学校教育はとても重要な期間になるのだと、ただ今の報告をお聞きして改めて考えました。人生の中でいろいろなことを受容する能力が最も高い時期、年齢なわけですので、義務教育が担う課題、意義は大きくなると思いました。

○工藤教育長

大変良い意見交換ができました。私自身も勉強となりました。ありがとうございます。

他に、委員の皆様から何かありますでしょうか。小池委員、どうぞ。

○小池委員

先程の教育長様のお話の中にもありましたが、今回の運動会は非常に暑かったこともありましたし、マスコミでは運動会の短縮、時短運動会などという言葉もあったようですが、私は全く別の観点から、学校教育に携わってる側からは言いづらいことかもしれませんが、社会や保護者が受け入れれば、これが多忙解消のひとつの動きになるのではないかなとも思うのですが、実際に新発田市の校長会などの動きで、運動会は午前中という感じがあるのか、それとも、ただ単に今年的气候に対する対処ということなのか、萩野課長が把握していることで何かあれば教えてください。

○萩野学校教育課長

今年は、天候的なことがあっていくつかの種目を削り、午前中で競技を終えて午後から閉会式とした学校がありましたが、短くしたのは天候の問題だと考えています。札幌市あたりは午前中で終わりとした学校が何十パーセントというようなことで、それが主流になりつつあるということはネット上の情報では知っていましたが、まだ新発田市内の学校で、あえて午前中で終わりにしようということは承知しておりません。

○小池委員

ちなみに、午前中もしくは昼食後下校としたのは複数校あったのでしょうか。

○萩野学校教育課長

外ヶ輪小学校だけ短くしたと聞いております。

○工藤教育長

私も特別支援学校を見せていただきましたが、午前で終わりというのはなく、保護者の方も子ども達と一緒に弁当を食べることを楽しみにしておられて、今のところはその方向は出ていないようでした。

○工藤教育長

他に、委員の皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、教育委員会の今後の日程、予定について山口教育総



務課長から説明をお願いします。

○山口教育総務課長

その他資料の教育委員会今後の日程、予定をご覧ください。網掛けの部分が新しく掲載した部分でございます。一番下、学校、幼稚園訪問につきまして9月から11月ということで入れさせていただきました。こちらにつきましては、改めて詳細をご案内させていただきます。次に、以前、6月26日に臨時会の開催をお願いしておりましたが、先日ご連絡申し上げましたとお取り止めとさせていただくこととなりました。スクールソーシャルワーカーの人事案件についてお諮りする予定でありましたが、応募がなかったということで取りやめとさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。最後に、通知文書をお配りしております、新潟県の教育委員会連合会理事会、定期総会のご案内でございます。7月19日に村上市の瀬波温泉の大観荘を会場に開催が予定されております。恐れ入りますが6月10日までにご出欠についてご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。

○工藤教育長

今後の日程と、新潟県市町村教育委員会連合会理事会、定期総会、研修会についてご案内がありました。何かご質問等ございますでしょうか。

桑原委員、どうぞ。

○桑原委員

人事案件の件は今後どのようになるのでしょうか。今回は応募がなかったということですが。

○工藤教育長

萩野学校教育課長、お願いします。

○萩野学校教育課長

はい。新たに令和2年4月1日採用で募集をしたいと、現在、人事課と話をしております。

○桑原委員

応募がなかった理由についての分析はしていますか。

○萩野学校教育課長

応募要件として3年間の教育現場での活動、経験を必要としていたので、少しハードルが高かったということも事実です。

○桑原委員

既に経験がある方としていたということですね。

○萩野学校教育課長

次は4月1日採用ということで考えています。年度途中だと現在の仕事に穴を開け

ることとなるので遠慮している方もいたのではないかと思います。年度初めとすれば、応募があるのではないかという見込みを持っております。

○工藤教育長

せっかく予算措置をしていただいたので、是非応募していただき、学校の支援に繋げていきたいと思えます。

他にありませんでしょうか。

○工藤教育長

それでは、ないようですので、以上で教育委員会令和元年6月定例会を閉会いたします。

午前10時10分 閉 会

令和元年7月2日

新発田市教育委員会教育長

委 員